

新型コロナ変異株オミクロンで、第6波急激感染大流行!!

全国で1日陽性者数、5万人を超える。佐賀県でも過去最多を更新!!

新型コロナウイルスは、今年1月に入り変異株オミクロンによる感染が全国的に拡大し、日本政府は1都15県(1月20日現在)にまん延防止等重点措置を出しました。この第6波は佐賀県においても1日の感染者数が連日過去最高が更新されています。また透析患者については日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会新型コロナウイルス感染対策合同委員会が1月20日に発表したものによると陽性者数が累計で2,800名。死亡者が427名となっています。第6波が流行しだした今年1月だけを見ますと陽性者が約120名、死亡者が4名となっています。

現在、マスコミなどの報道ではオミクロン株は、感染しやすいが重症化にはなりにくいともありますが、高齢者また基礎疾患を持つ方については、重症化しやすいとも言われています。

患者及び患者家族の方、1人ひとりが徹底した予防を図り、感染しないように心掛けましょう。

新型コロナワクチンの3回目接種について、佐賀県知事に陳情!!

新型コロナウイルスの急速な感染拡大を踏まえ、佐賀県腎臓病協議会では1月9日の執行役員会において、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について、県に陳情書を提出することを決め、1月13日に佐賀県議会棟において、木原奉文県議会議員、中本正一県議会議員を通じ、山口祥義佐賀県知事宛ての陳情書を、久保山善生佐賀県健康福祉部理事に田中会長より手渡しました。この後、陳情事項について、佐腎協田中会長、下川副会長、南川常務理事の3名が、透析患者や腎移植者の現状を踏まえながら説明し、早期の3回目ワクチン接種について強く申し入れをしました。また、透析患者や腎移植者が不安に思っていることを伝えました。

陳情事項

一、佐賀県において、透析施設医療従事者は元より、人工透析患者および腎移植者が年齢に関係なく、日常通院している医療機関で、優先的に新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種ができるようお願いします。